2024 会告 No.11

◇通知・案内事項

○第90年会開催案内　「一般研究発表」講演募集「シンポジウム」企画募集 …… 本号8ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

（2024）　（2025）

◇年会　3/12～14（東京理科大学）
◇秋季大会
◇支部大会
◇学生発表会

◇本部・各支部・部会行事　（「ゴシック」は新規掲載分および修正分）

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ（または各支部ホームページ）をご参照下さい。

開催年月日	行　事	申込締切	会告ページ
2024年11月 *November*			
5～6	「プロセス設計」講座　ハイドロリックの設計 編（11/5-6）（千葉県）	10月4日（金）	7号9
7～8	ナノ材料の総合分析講習（11/7-8）（大阪府）	10月16日（水）	9号14
7～8	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座（11/7-8）（東京都）	10月30日（水）	7号10
8	第11回　初歩からの化学工学数学演習講座「データ解析および時系列データ分析の基礎」（11/8-12/6）（オンデマンド）	11月1日（金）	8号11
8～9	第41回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー（11/8-9）（兵庫県）	10月4日（金）	10号12
13～15	「プラント計装制御－1」講座（11/13-15）（東京都）	11月5日（火）	7号11
15	第34回化学工学一関セミナー（岩手県）	11月8日（金）	10号10
15	**第68回関東技術サロン「化学工学の視点から見るフードテック：持続可能な食の未来」ハイブリッド（東京都）**	11月13日（水）	本号11
18～19	**「プロセス設計」講座　プロセス基本制御とPFD作成 編（11/18-19）（東京都）**	11月8日（金）	本号9
20	第55回CEシリーズ講習会「カーボンニュートラル実現に向けた炭素資源リサイクル技術開発と社会実装」（東京都）（ハイブリッド）	11月13日（水）	10号11
22～23	第50回経営ゼミナール「シン・社会へのリジェネレーションを起こせ！～自らを変え，変革の波を創る～」幕張セッション（10/25-26）（千葉県）	6月30日（日）	6号10
26	**第36回化学工学研究会（山口県）**	11月22日（金）	本号13
27～29	「P&IDの作り方」講座（11/27-29）（東京都）	11月19日（火）	7号11
29	**2024年度セミナー「脱炭素社会を支えるカーボンニュートラルとバイオマス技術」（広島県）**	11月8日（金）	本号13
2024年12月 *December*			
4～5	粉体技術者養成講座　第6回【集じん】（12/4-5）（愛知県）		7号11
5	**第6回講習会「CVD・ALDプロセスの基礎」（オンライン）**	12月2日（月）	本号11
5～6	**バイオプロセス講演・見学会「バイオ生産技術実用化への早道」（千葉県）**	11月21日（木）	本号12
11	岡山地区化学工学懇話会　2024年度化学工学基礎講習会（応用編）（12/11）（岡山県）	11月29日（金）	10号10
12	**神奈川地区見学講演会「カーボンニュートラル社会の構築におけるメタネーション技術」（神奈川県）**	11月28日（木）	本号12
16	**第31回 イブニングセミナー「化学工業・産業におけるスマート工場化とOTセキュリティ課題」（オンライン）**	12月9日（月）	本号12
2025年1月 *January*			
10	共通基盤技術シンポジウム2025 ～クライオ電子顕微鏡技術を活用した液状材料・プロセス研究の新展開～（兵庫県）		10号9
27～29	**「反応器の設計」講座（1/27-29）（東京都）**	1月17日（金）	本号9
30～31	**「プロセス設計」講座　化工物性，蒸留計算 編（1/30-31）（オンライン）**	1月19日（日）	本号10

著作権法により無断での転載等は禁止されています

2025年2月 *February*			
6～7	**「モデリング技術の基礎と実践」講座(2/6-7)(東京都)**	**1月29日(水)**	**本号10**
2025年3月 *March*			
12～14	**化学工学会第90年会(3/12-14)(東京都)**		**本号8**

◇国際交流行事

会　　期	行　　事　　名	申込締切	会告ページ
11月29～30日	International Symposium on Chemical Engineering 2024 (第35回化学工学に関する国際シンポジウム)(ISChE2024)(沖縄県)	7月31日(水)	6号13
12月10日	International Symposium "Blue Credit：Current Status and the Future"(国際シンポジウム　ブルークレジットの現状と将来)	12月5日(木)	10号10

◇**共　催・協　賛　行　事**(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「**ゴシック**」は新規掲載分)

行　　事(場　所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail，URL
2024年度化学人材育成プログラム協議会(東京都他)	4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html
技術英語能力検定(令和六年度)(主催者が設定する全国の試験会場)	4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本能率協会	03-3434-1955 jstc@jma.or.jp https://jstc.jma.or.jp/
2024年度計算力学技術者(CAE技術者)資格認定事業(全国(上級試験は日本機械学会会議室(東京)))	7月23日～12月6日 (火～金)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7616 caenintei@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/cee/
第46回安全工学セミナー(東京都及びオンライン)	8月27日～ 2025年1月24日 (火～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/f81c7fc76e69b6e74bf6d30da560a48b?frame_id=991
第34回安全管理の最新動向講習会 (大阪府 東京都 オンライン)	9月13日～10月4日 (金～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/e1a03e1df9480b06aed0779140ac392c?frame_id=991
第95回技術セミナー(東京都)	10月1日(火)	公益社団法人　腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/95.html
第43回電子材料シンポジウム(EMS-43)(奈良県)	10月2～4日 (水～金)	電子材料シンポジウム運営委員会	06-6879-7705 (06-6879-7708) imanishi@eei.eng.osaka-u.ac.jp https://ems.jpn.org/
KISTEC教育講座「微生物発電が導く未来へのサステイナブル・バイオテクノロジー」(神奈川県)	10月4日(金)	神奈川県立産業技術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) manabi@kistec.jp https://www.kistec.jp/learn/microorganism/

著作権法により無断での転載等は禁止されています

見学会付き講習会「DXとGXのパラドックス ～DX推進によるエネルギー需要増と見過ごされた論点～」（神奈川県およびオンライン）	10月4日（金）	日本機械学会 動力エネルギーシステム部門	03-4335-7615 （03-4335-7619） izawa@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/24-109/
熱工学コンファレンス2024（山口県）	10月5～6日 （土～日）	一般社団法人 日本機械学会	03-4335-7612 （03-4335-7618） miyata@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/tedconf24/index.html
「食品ハイドロコロイドセミナー2024」「第35回食品ハイドロコロイドシンポジウム」（東京都）	10月7～8日 （月～火）	食品ハイドロコロイド研究会	03-5463-0581 sympo@food.hydrocolloids.org https://sites.google.com/view/food-hydrocolloid-org
第10回材料WEEK（京都府）	10月8～10日 （火～木）	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 （075-761-5325） jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/
第253・254回西山記念技術講座「最新シミュレーション技術の進歩と鉄鋼業への展開」（大阪府）（東京都／オンライン）	10月16～30日 （水～水）	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 （03-3669-5934） educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2024/nishiyama253.html
69th FRP CON-EX 2024（大阪府）	10月17～18日 （木～金）	強化プラスチック協会	03-5812-3370 （03-5812-3375） hdqtr@jrps.or.jp https://www.jrps.or.jp/
第72回レオロジー討論会（山形県）	10月17～18日 （木～金）	日本レオロジー学会，日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 （075-315-8688） office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
日本コンピュータ化学会2024年秋季年会（北海道）	10月20～21日 （日～月）	日本コンピュータ化学会	0143-46-5673 （0143-46-5673） sccj2024ao@googlegroups.com https://sites.google.com/view/sccj2024autum/
2024年日本表面真空学会学術講演会（福岡県）	10月20～24日 （日～木）	日本表面真空学会	03-3812-0266 （03-3812-2897） taikai2024@jvss.jp https://pub.confit.atlas.jp/en/event/jvss2024
The 10th International Symposium on Surface Science（ISSS-10）（福岡県）	10月20～24日 （日～木）	日本表面真空学会	03-3812-0266 （03-3812-2897） isss10@jvss.jp https://www.jvss.jp/conference/isss10/
2024年度水素・燃料電池材料研究会講座（東京都）	10月25日（金）	高分子学会水素・燃料電池材料研究会	03-5540-3771 （03-5540-3737） resg3@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=624
第19回高校化学グランドコンテスト（東京都）	10月26～27日 （土～日）	芝浦工業大学	03-5859-7985 090-6046-8361 （03-5859-7121） i049052@ow.shibaura-it.ac.jp https://s-gracon.jp/2023/
第45回日本熱物性シンポジウム（新潟県）	10月28～30日 （月～水）	日本熱物性学会	03-5452-6218 （03-5452-6219） jstp@iis.u-tokyo.ac.jp https://jstp-symp.org/symp2024/index.html

著作権法により無断での転載等は禁止されています

第49回コロージョン・セミナー（愛知県）	10月29～31日（火～木）	公益社団法人　腐食防食学会	03-3815-1161 （03-3815-1291） ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/49.html
第61回石炭科学会議（香川県）	10月30日～11月1日（水～金）	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 （03-3834-6458） tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/977/
第74回プラスチックフィルム研究会講座（東京都）	10月31日（木）	高分子学会プラスチックフィルム研究会	03-5540-3771 （03-5540-3737） resg3@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=627
連合年会2024（第37回日本イオン交換研究発表会・第43回溶媒抽出討論会）（茨城県）	10月31日～11月1日（木～金）	日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会	029-228-8704 （029-228-8704） akira.ohashi.sci@vc.ibaraki.ac.jp http://www.jaie.gr.jp/00japanese/index.html#
第19回エレクトロヒートシンポジウム〈WEB開催〉（オンライン）	11月1～30日（金～土）	一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター	03-5642-1733 （03-5642-1734） uyama@jeh-center.org https://www.jeh-center.org/19thEHsympo.html
第38回国際P2M学会研究発表大会（東京都）	11月9日（土）	国際P2M学会	090-1655-4927 （047-478-0336） hideto.ogasawara@p.chibakoudai.jp http://www.iap2m.org/pdf/IAP2M_2024_autumn_CFP(v1).pdf
SCIS & ISIS 2024（兵庫県）	11月9～13日（土～水）	日本知能情報ファジィ学会	0948-24-3355 （0948-24-3356） scis.isis2024@soft-cr.org https://soft-cr.org/scis/2024/
（一社）日本高圧力技術協会　オンライン技術セミナー「水素技術基礎講座－安全な機器運用のために－」（オンライン）	11月12日（火）	（一社）日本高圧力技術協会	03-3516-2270 （03-3516-2271） tanaka@hpij.org https://www.hpij.org/plugin/databases/detail/19/43/3#frame-43
第14回イオン液体討論会（福島県）	11月12～14日（火～木）	イオン液体研究会	090-6495-3605 ionicliquid@officepolaris.co.jp https://www.ilra.jp/14th_jsil/index.html
実用表面分析セミナー2024（兵庫）	11月13日（水）	公益社団法人日本表面真空学会 関西支部	072-781-0081 （072-781-9097） junichi.minato@nsg.com https://www.jvss.jp/chapter/kansai/kansai_jitsuyou25/
14th International Conference of Electroluminescence and Optoelectronic Devices（ICEL2024）（京都府）	11月12～15日（火～金）	ICEL2024実行委員会	0774-38-3152 （0774-38-3148） icel2024@moma.kuicr.kyoto-u.ac.jp https://icel2024.kuicr.kyoto-u.ac.jp/
The Second Symposium on Carbon Ultimate Utilization Technologies for the Global Environment（CUUTE-2）（奈良県）	11月12～15日（火～金）	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-3669-5932 ryo@isij.or.jp https://cuute2.com/
第71回材料と環境討論会（東京都）	11月13～15日（水～金）	公益社団法人　腐食防食学会	03-3815-1161 （03-3815-1291） ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/71.html
第45回ドライプロセス国際シンポジウム（DPS2024）（北海道）	11月14～15日（木～金）	ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 dps2024@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2024/

著作権法により無断での転載等は禁止されています

酵素工学研究会第92回講演会（神奈川県）	11月15日（金）	酵素工学研究会	075-753-6462 （075-753-6462） enzyme.engjsee@gmail.com https://www.jsee92.enzyme-eng.com
15th International Symposium of Atomic Level Characterization for New Materials and Devices '24（ALC '24）（島根県）	11月17～22日（日～金）	日本表面真空学会 マイクロビームアナリシス技術部会	03-3812-0266 alc24@jvss.jp https://www.jvss.jp/division/mba/alc/alc24/
第75回白石記念講座「データ駆動型材料開発の最前線とその適用例」（東京都／オンライン）	11月21日（木）	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 （03-3669-5934） educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2024/shiraishi75.html
ケミカル マテリアル Japan 2024（東京都）	11月21～22日（木～金）	株式会社 化学工業日報社	03-3663-7936 （03-3663-7861） cmj@chemicaldaily.co.jp https://www.chemmate.jp
2024年度第2回晶析分科会（兵庫県）	11月22日（金）	日本粉体工業技術協会	0561-34-4995 （0561-34-6318） crystallization@noritake.com https://appie.or.jp/wp-content/uploads/2024/09/241122shoseki.pdf
第62回燃焼シンポジウム（大阪府）	11月25～27日（月～水）	一般社団法人 日本燃焼学会	06-6879-7253 （06-6879-7254） sympo62@combustionsociety.jp https://www.combustionsociety.jp/sympo62/
第15回マイクロ・ナノ工学シンポジウム（宮城県）	11月25～28日（月～木）	日本機械学会	03-4335-7614 mnm2024@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/mnm2024/
No.24-103 特別講演会 海外展開する中小企業の準備（機械安全や認証の基礎知識）（オンライン）	11月26日（火）	一般社団法人日本機械学会　産業・化学機械と安全部門	03-4335-7616 （03-4335-7619） noguchi@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/24-103/
第32回秋季大会成形加工シンポジア'24（沖縄県）	11月27～28日（水～木）	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 （03-3779-9698） plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
POWTEX2024（第25回国際粉体工業展東京）（東京都／オンライン併催（オンライン会期：2024/11/11～12/26））	11月27～29日（水～金）	一般社団法人日本粉体工業技術協会	03-5297-8855 （03-5294-0909） info2024@powtex.com https://www.powtex.com/tokyo/
第51回炭素材料学会年会（福岡県）	11月27～29日（水～金）	炭素材料学会	03-6824-9365 tanso-desk@conf.bunken.co.jp https://www.tanso.org/contents/event/conf2024/
日本膜学会「膜シンポジウム2024」（滋賀県）	11月28～29日（木～金）	日本膜学会	03-3815-2818 （03-3815-2818） membrane@mua.biglobe.ne.jp https://www.maku-jp.org/symposium/
第13回潜熱工学シンポジウム（岡山県）	11月28～29日（木～金）	日本潜熱工学会	086-251-8086 （086-251-8086） knakaso@okayama-u.ac.jp https://www.cc.okayama-u.ac.jp/latentheat/schedule.html
海水資源・環境セミナー2024（千葉県）	11月29日（金）	日本海水学会　海水資源・環境研究会	0465-47-3161 （0465-48-6242） shigen@swsj.org https://swsj.org/2024/08/21/seminar-on-marine-resources-and-environment-2024/

著作権法により無断での転載等は禁止されています

腐食防食部門委員会第357回例会「非破壊検査技術の最近の進歩と設備診断への適用」(大阪府)	11月29日(金)	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
エコデザイン・プロダクツ&サービスシンポジウムEcoDePS2024(東京都)	11月30日(土)	エコデザイン学会連合	070-8594-2674 secretariat@ecodenet.com https://ecodenet.com/EcoDePS2024/
2024年度 第3回ORセミナー『実験計画法の新潮流～空間充填計画，ベイズ最適化，多目的設計探査，機械学習の活用へ～』(東京都およびオンライン)	11月30日(土)	日本オペレーションズ・リサーチ学会	03-3851-6100 (03-3851-6055) jimukyoku@m.orsj.org https://smms.kktcs.co.jp/smms2/event/orsj/49
第38回分子シミュレーション討論会(兵庫県)	12月2～4日 (月～水)	分子シミュレーション学会	078-303-1975 (078-303-1975) washizu@sim.u-hyogo.ac.jp https://sympo.mol-sim.jp/mssj38/
第44回レオロジー講座 - 様々なソフトマターのレオロジー -(オンライン)	12月3～4日 (火～水)	日本レオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) online@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
第57回安全工学研究発表会(富山県及びオンライン)	12月5～6日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/044019f4e88e5f04f39e437d8889ab27?frame_id=991
第44回水素エネルギー協会(HESS)大会(ハイブリッド(東京都，オンライン))	12月5～6日 (木～金)	一般社団法人水素エネルギー協会	090-7367-3695 secretary@hess.jp https://hess01.sakura.ne.jp/3_activity/mo/44hess_annai.pdf
Salt & Seawater Science Seminar 2024(神奈川県)	12月6日(金)	公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所	0465-47-3161 (0465-48-6242) kouenkai@shiojigyo.or.jp https://www.shiojigyo.com/institute/event/ssss/
KISTEC教育講座「中間水コンセプトによるバイオ・医療材料開発」(神奈川県)	12月10～11日 (火～水)	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) manabi@kistec.jp https://www.kistec.jp/learn/biomaterial/
オンライン技術セミナー「保全分野へのAI適用」(オンライン)	12月10日(火)	(一社)日本高圧力技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org https://www.hpij.org/plugin/databases/detail/19/43/82#frame-43
第50回腐食防食入門講習会(東京都)	12月10～11日 (火～水)	公益社団法人 腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/50.html
第21回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会(京都府)	12月11～12日 (水～木)	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
2024年度JCOM若手シンポジウム(兵庫県)	12月11～13日 (水～金)	公益社団法人日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
第38回数値流体力学シンポジウム(東京都)	12月11～13日 (水～金)	日本流体力学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) cfd38@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd38/

著作権法により無断での転載等は禁止されています

第33回微粒化シンポジウム（広島県）	12月17～18日 （火～水）	日本液体微粒化学会	06-6466-1588 （06-6463-2522） infomation_atmz@ilass-japan.gr.jp https://www.ilass-japan.gr.jp
第20回バイオマス科学会議（京都府）	12月18～19日 （水～木）	（一社）日本エネルギー学会	03-3834-6456 （03-3834-6458） tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/982/
分離技術会 年会 2024（島根県）	12月19～20日 （木～金）	分離技術会	044-874-0337 （044-874-0338） jimu@sspej.gr.jp https://mtg.sspej.org/
International Symposium on Green Transformation Initiative and Innovative Zero-Carbon Energy Systems（GXI-ZES）（東京都）	2025年1月 14～16日（火～木）	東京工業大学科学技術創成研究院ゼロカーボンエネルギー研究所およびグリーントランスフォーメーションイニシアティブ（Tokyo Tech GXI）	03-5734-3284 （03-5734-3284） gxi-zes@zc.iir.titech.ac.jp https://gxi-zes.org/
第37回自律分散システム・シンポジウム（山口県）	2025年1月 15～16日（水～木）	計測自動制御学会 システム・情報部門 自律分散システム部会	083-933-5691 das37th@gmail.com https://sites.google.com/sice-das.org/das37th
第36回高分子ゲル研究討論会（東京都）	2025年1月 22～23日（水～木）	高分子学会　高分子ゲル研究会	03-5540-3771 resg1@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/
第41回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス（東京都）	2025年1月 28～29日（火～水）	一般社団法人エネルギー・資源学会	06-6446-0537 （06-6446-0559） gyoji@jser.gr.jp https://www.jser.gr.jp/
ISPlasma2025/IC-PLANTS2025（愛知県）	2025年3月 3～7日（月～金）	公益社団法人　応用物理学会	052-581-3241 （052-581-5585） isplasma2025@intergroup.co.jp https://www.isplasma.jp/（近日公開）
第4回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議（英文名）The 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems（COMPSAFE2025）（兵庫県）	2025年7月 1～4日（火～金）	日本計算工学会（JSCES），日本計算力学連合（JACM）	078-940-5541 compsafe2025@compsafe2025.org https://www.compsafe2025.org/
第62回アイソトープ・放射線研究発表会（東京都）	2025年7月 2～4日（水～金）	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 （03-5395-8053） happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
第8回材料界面の評価と制御に関する国際会議　The 8th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials（ICCCI2025）（山梨県）	2025年7月 8～11日（火～金）	粉体工学会	045-339-3959 045-339-3957 iccci2025@ynu.ac.jp https://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2025/

著作権法により無断での転載等は禁止されています

第90年会　広告・プロモーションビデオ・コマーシャル放映・展示募集

第90年会概要

会期　2025年3月12日(水)～3月14日(金)
会場　東京理科大学　葛飾キャンパス
（〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1）
（一部ライブ配信併用の予定）
見込み参加者　2,000名以上
内容　研究講演・シンポジウム等
参加対象　化学工学を中心とした化学系学科の教員・学生，化学系および関連会社の研究者・技術者
URL　https://www4.scej.org/meeting/90a/

webバナー広告掲載

媒体　化学工学会第90年会webサイト（https://www4.scej.org/meeting/90a/）
バナーサイズ　2種類のサイズを設定します。
左右240×天地92ピクセル(以下)
ファイル形式　GIF，PNGまたはJPEG
リンク設定　掲載のバナー広告から貴社へのリンクを設定します
掲載期間　申込受付後，第90年会webサイト公開終了まで(大会終了後もしばらく公開を続けます；公開終了は化学工学会にて決定します)
申込およびファイル送付期限　2025年2月28日(金)(スペースに限りがありますのでお早めにお申込み願います)

○webバナー広告料金[税別]*1*2

	バナー
化学工学会会員 (原則として法人会員に限ります)	60,000円
化学工学会会員外 (原則として法人に限ります)	120,000円

＊1　1枠あたりの料金です。
＊2　広告主様にて掲載用画像ファイルを制作いただく場合の料金です。それ以外の場合は別料金が発生する場合がありますので，別途お問い合わせください。

プログラム集広告

プログラム集への広告掲載を募集します。詳細は大会Webサイトまたは12月号会告をご覧ください。
申込期限　2025年1月31日(金)
原稿送付期限　2025年2月7日(金)必着

プロモーションビデオ掲載・コマーシャル放映

オンライン学会サイトへのプロモーションビデオ掲載(広告あるいはwebバナー広告掲載申込団体のみ)と，セッション会場でのコマーシャル放映(原則としてプロモーションビデオ申込団体のみ)を募集します。詳細は大会Webサイトまたは12月号会告をご覧ください。
いずれも申込およびファイル送付期限　2025年2月28日(金)

○プロモーションビデオ（広告あるいはwebバナー広告掲載申込団体のみ）
ファイル様式　MP4，MOV，WMV，AVI，FLV。原則300 MB以内。時間制限なし。詳細はお問い合わせください。

○コマーシャル放映(原則としてプロモーションビデオ申込団体のみ)
希望するセッション2つ（追加可能）の開始前，休憩時間などに放映。
ファイル形式　MP4，MOV，WMV，AVI，FLV。原則80MB，1分以内。詳細はお問い合わせください。
申込およびファイル送付期限　2025年2月28日(金)(セッション希望は先着順のためお早めにお申し込み願います)

ニューテックセッション(付設展示会)

大会会場（東京理科大学葛飾キャンパス）内にて付設展示を実施予定です。詳細は大会Webサイトまたは12月号会告をご覧ください。
申込期限　2025年1月31日(金)

申込方法

大会webサイトのフォームよりお申込みください。

広告料金支払方法

口座振込にてお支払い頂きます。振込口座等は申込受付後に実行委員会よりお知らせ致します。

注意事項

■掲載の取消し
掲載申込の受付後は，本会が不可抗力と認めたもの以外の掲載取消しはできません。したがって，広告料金の返却は致しません。原稿送付期限に遅れて送付された原稿は掲載できません。この場合，本会が不可抗力と認めたもの以外の広告料金は返却致しません。掲載申込の受付後でも掲載内容に問題があると本会が判断した場合には掲載をお断りすることがあります。この場合，広告料金は返却します。

問合せ先

化学工学会第90年会実行委員会
E-mail：inquiry-90a@www4.scej.org

著作権法により無断での転載等は禁止されています

人材育成センター

プロセス基本制御とPFD作成 編（改定第10回）

主催　化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要　本講座では，中味流体を取り扱うという視点からプロセス制御を構築していき，更に流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化していく手法を学んでいただきます。

日時　2024年11月18日(月)，19日(火)
場所　化学工学会会議室（東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分）
対象　以下の何れかに該当される方
・流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化する手法を学びたい方
・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(3～5年程度の経験者)
・「P&IDの作り方」講座　受講予定者
・「プロセス設計」講座　各編　修了者／受講予定者
・「プラント計装制御－1」講座　修了者／受講予定者
受講のメリット
(1)化工物性，蒸留計算編(7月，2025年1月)，塔・槽，熱交換器の設計編（5月，10月），ハイドロリックの設計編（6月，11月）とともに本編を受講することでプロセス設計の真髄を習得できます。
(2)「P&IDの作り方」講座（6月，11月）を受講する前の事前学習として有効です。
(3)本講座では事前アンケートを実施し，受講者の経験や受講目的などを把握し，講義の参考と致します。
(4)修了レポートにより，理解度を更に深められます。
講座内容
第1日：11月18日(月)9:55～17:00
諸連絡(9:55～10:00)
12. 蒸留塔周りの制御(10:00～12:30)
13. 各種設備の制御の基本(蒸留塔以外)(13:30～15:55)
14. PFD作成実習(16:05～17:00)
第2日：11月19日(火)9:30～14:30
14. PFD作成実習(続き)(9:30～12:30)
15. 計装・制御についての補足事項（13:30～14:30）
講師　経験豊富なエンジニア
永野健一郎氏(日揮グローバル㈱プロジェクトソリューションズセンター エンジニアリング本部 プロセスエンジニアリング部，上席化学工学技士，技術士)
受講証明書　出席基準を満たす受講者には，最終日に受講証明書を発行致します。
修了証　本講座では，受講者の方々に受講後に復習していただき，講義内容の理解を深めていただく意図で，修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本4号会告6ページ参照)
継続教育ポイント　受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また，修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は4号会告6ページ参照)
募集定員　20名　(定員になり次第締切)
受付締切　11月8日(金)
受講料(消費税10%込)
個人正会員＜**技士基礎割**＊＞　16,500円(本体15,000円)
個人正会員　33,000円(本体30,000円)
維持会員／特別会員の社員　41,250円(本体37,500円)
地区会員の社員　49,500円(本体45,000円)
会員外　57,750円(本体52,500円)
＊**技士基礎割**は，以下の条件を満たす方が対象となります。
1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認，更新して下さい)
3. (開催日に) 卒業または修了後5年以内の社会人であること。
申込方法　化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか，下記URLをブラウザに直接入力して頂き，該当する講座を選択してお申込み下さい。
https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm
問い合わせ先
公益社団法人化学工学会　人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006　東京都文京区小日向4-2-8　大樹生命文京小日向ビル4F
E-mail：jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL：03-6801-5563(代)　FAX：03-6801-5564

「反応器の設計」講座(第40回)

主催　化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要　気相反応器，液相反応器，流動層反応器の設計，および反応器のスケールアップを行うための基礎知識を習得することを目標とします。特に，反応器周りの熱／物質収支について基本的な考え方を講義し，実験室データから実装置のプロセス設計ができるように，基礎を学んでいただきます。

日時　2025年1月27日(月)～29日(水)
場所　化学工学会会議室（東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分）
対象　以下の何れかに該当される方
・化学反応を扱う研究者・技術者
・パイロットプラントの設計を行う技術者
・プロセス設計技術者(2～5年程度の経験者)
いずれも，Excelのゴールシーク，ソルバー機能の知見があること(知見無い方は予習要)
受講のメリット
(1)既知の熱力学データを基に，気体反応の熱／物質収支を計算できるようになります
(2)実験室データからのスケールアップの考え方を習得でき，液相反応器の実装置の設計に役立つ知識を得られます。
(3)本講座では事前アンケートを実施し，受講者の経験や受講目的などを把握し，講義の参考と致します。
(4)修了レポートにより，理解度を更に深められます。
(5)最新の流動層反応器の知識を得られます。
(6)演習で使用したexcelファイルはお持ち帰りできます。
講座内容
第1日：1月27日(月)　兵藤氏
諸連絡(9:55～10:00)
1. 反応器概論(10:00～12:30)
2. 気体反応器　－反応器廻りの熱収支・物質収支計算－(13:15～17:45)
第2日：1月28日(火)　寺井氏
3. 液相反応器の設計(9:30～16:30)
第3日：1月29日(水)　渡辺氏
4. 流動層反応器の設計(9:30～12:30)
※演習用PCは当会でご準備致します。
※なお，本講座の演習では，Excelのゴールシーク，ソルバー機能を使います。
ゴールシーク，ソルバー機能を使った経験がない方は，本会「化学工学」誌に連載された「Excelで気軽に化学工学」第1回(2004年7月号pp.382-386)や「Excelで解く化学工学10大モデル」(2014年11月号～2016年1号)，あるいは，「Excelで気軽に化学工学」(化学工学会編・丸善刊)等で予習してください。個人会員の方であれば，電子図書館で「化学工学」誌を閲覧することができます。
講師　経験豊富なエンジニア陣
兵藤伸二氏(千代田化工建設㈱技術本部 石油・化学・新エネルギープロセス設計部，上席化学工学技士)
寺井　聡氏(東洋エンジニアリング㈱エンジニアリング・技術統括本部)
渡辺康広氏(千代田化工建設㈱技術本部 石油・化学・新エネルギープロセス設計部)
受講証明書　出席基準を満たす受講者には，最終日に受講証明書を発行致します。
修了証　本講座では，受講者の方々に受講後に復習していただき，講義内容の理解を深めていただく意図で，修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告6ページ参照)
継続教育ポイント　受講証明書を授与した方には30ptを授与致します。また，修了証を授与された方には更に15ptを加算致します。(詳細は4号会告6ページ参照)
募集定員　12名(定員になり次第締切)
受付締切　1月17日(金)
受講料(消費税10%込)
個人正会員＜**技士基礎割**＊＞　33,000円(本体30,000円)
個人正会員　60,500円(本体55,000円)
維持会員／特別会員の社員　74,250円(本体67,500円)
地区会員の社員　88,000円(本体80,000円)
会員外　101,750円(本体92,500円)
＊**技士基礎割**は，以下の条件を満たす方が対象となります。
1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認，更新して下さい)
3. (開催日に) 卒業または修了後5年以内の社会人であること。
申込方法　化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか，下記URLをブラウザに直接入力して頂き，該当する講座を選択してお申込み下さい。
https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm
問い合わせ先
公益社団法人化学工学会　人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006　東京都文京区小日向4-2-8　大樹生命文京小日向ビル4F
E-mail：jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL：03-6801-5563(代)　FAX：03-6801-5564

著作権法により無断での転載等は禁止されています

オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性，蒸留計算 編（第８回）

主催　化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要　本講座では，物性及び物性推算について理解を深めた後，蒸留の基本である気液平衡について学び，理想系，非理想系の気液平衡計算の手法を，演習を通して理解していただきます。そして，2成分系，多成分系，特殊な蒸留など蒸留塔の設計に必要な蒸留計算について，演習問題を手計算で解きながら学んでいただきます。

日時　2025年1月30日(木)，31日(金)

対象　以下の何れかに該当される方
・化工物性，蒸留計算の基本を学びたい方
・シミュレータの蒸留計算の原理を知りたい方
・化学・石油精製プラントなどに関連のあるエンジニア(2～10年程度の経験者)
・「プロセス設計」講座　各編　修了者／受講予定者

講習目標
本講座では，物性及び物性推算について理解を深めた後，蒸留の基本である気液平衡について学び，理想系，非理想系の気液平衡計算の手法を，演習を通して理解していただきます。そして，2成分系，多成分系，特殊な蒸留など蒸留塔の設計に必要な蒸留計算について，演習問題を手計算で解きながら学んでいただきます。

受講のメリット
(1) プロセス設計に使用する化工物性を理解できます。
(2) 気液平衡について基礎，非理想系の気液平衡，これらの推算式を理解できます。
(3) 2成分系の蒸留計算，多成分系の蒸留計算の原理を理解できるようになります。
(4) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション（1月19日）を実施し，受講者の経験や受講目的などを把握し，講義の参考と致します。
(5) 修了レポートにより，理解度を更に深められます。

講座内容
本講座は，Microsoft Teamsを利用したオンラインで，目安として，講義60分につき休憩を10分程度のペースで開催致します。
オンライン開催になりますが，一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。
なお，以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は，ご参加をお断りさせていただきます。https://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

オリエンテーション　1月19日（金）13:10～30分程度(最大でも14:00)
接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境（カメラ付PC必須）で参加下さい。
※受講の際にはExcel(ゴールシーク，ソルバー機能)を使えるパソコンで受講して下さい。

第１日：1月25日(木)9:30～17:10
1. プロセス設計と物性値
2. 気液平衡

第２日：1月26日(金)9:30～17:10
3. 2成分系の蒸留計算
4. 多成分系の蒸留と特殊な蒸留

講師　経験豊富なエンジニア
澤井　直明氏(日揮グローバル㈱エンジニアリングソリューションズセンター プロセスエンジニアリング部)

受講証明書　出席基準を満たす受講者には，最終日に受講証明書を発行致します。

修了証　本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告6ページ参照)

継続教育ポイント　受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また，修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は4号会告6ページ参照)

募集定員　10名　(定員になり次第締切) 6名に達しない場合は，開催中止となることがございます。

受付締切　1月19日(金)9:00

受講料(消費税10%込)

個人正会員＜技士基礎割＊＞	22,000円(本体20,000円)
個人正会員	44,000円(本体40,000円)
維持会員／特別会員の社員	55,000円(本体50,000円)
地区会員の社員	66,000円(本体60,000円)
会員外	77,000円(本体70,000円)

＊**技士基礎割**は，以下の条件を満たす方が対象となります。
1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認，更新して下さい)
3. (開催日に) 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法　化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか，下記URLをブラウザに直接入力して頂き，該当する講座を選択してお申込み下さい。
https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm

問い合わせ先
公益社団法人化学工学会　人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006　東京都文京区小日向4-2-8　大樹生命文京小日向ビル4F
E-mail：jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL：03-6801-5563(代)　FAX：03-6801-5564

「モデリング技術の基礎と実践」講座(改定第20回)

主催　化学工学会人材育成センター継続教育委員会

概要　プロセス設計，プラント運転にはプロセスシミュレータが広範囲に利用されています。シミュレータをより効果的に活用するには，基礎工学原理の理解が不可欠です。応用数学とモデリングの基礎を，手計算，Excel，方程式解法ソフトを用いながら学び，実験データからモデルをどう作るかについて，微分方程式・代数方程式の立て方と解き方を中心にした演習を行い，化学プロセスで取り扱う現象のモデリングについて実践的な基礎を学ぶ機会を提供します。

日時　2025年2月6日(木)～7日(金)

場所　化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩7分)

対象　以下の何れかに該当される方
・反応や各種単位操作に関連した現象のモデリング技術を学んで実践に生かしたい方
・企業経験3年程度以上の技術系の方

受講のメリット
(1) プロセスシミュレーションモデリング技術に関する知識とアプローチの理解が深まり，実践に生かすことができます。
(2) プロセスデータ・実験データを見た時に，関連したモデルを作成し，それを用いて考察する習慣をつけるための第一歩となります。
(3) 本講座では事前アンケートを実施し，受講者の経験や受講目的などを把握し，講義の参考と致します。

講座内容
第1日：2月6日(木)9:55～17:30
諸連絡(9：55～10：00)
1. 立式と解法の基本(EQUATRAN導入教育含む)

第2日：2月7日(金)9:30～17:00
2. 反応操作
3. 気液平衡
4. (参考)プラントデータの解析
5. まとめ

※テキスト改定により，若干内容が変わる可能性があります。お申込の際にホームページをご確認下さい。
※関数電卓は各自ご持参下さい。
※演習用PCは当会でご準備致します。
＜用いるソフトウエア＞方程式解法ソフト（EQUATRAN-G for Windows）を開発・販売元である株式会社オメガシミュレーション社のご好意により利用できます。
《ソフトウエアに関する受講者の知識》
1)Excel：ソルバー機能を使った経験
※ソルバー機能を使った経験が少ない方は，「化学工学」2004年7月号pp.382-386を自習されることをご推奨します。
2) 方程式解法ソフト：不要（冒頭2時間強で，化学工学例題を用いて操作方法を説明します）

講師　熊谷　善夫氏（㈱PreFEED，博士（工学））及び，横山　克己氏(㈱PreFEED，博士(工学))

受講証明書　出席基準を満たす受講者には，最終日に受講証明書を発行致します。

継続教育ポイント　受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。(詳細は4号会告6ページ参照)

募集定員　10名（定員になり次第締切）6名に達しない場合は，開催中止となることがございます。

受付締切　1月29日(水)

受講料(消費税10%込)

個人正会員	49,500円(本体45,000円)
維持会員／特別会員の社員	60,500円(本体55,000円)
地区会員の社員	71,500円(本体65,000円)
会員外	82,500円(本体75,000円)

申込方法　化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか，下記URLをブラウザに直接入力して頂き，該当する講座を選択してお申込み下さい。
https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm

問い合わせ先
公益社団法人化学工学会　人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006　東京都文京区小日向4-2-8　大樹生命文京小日向ビル4F
E-mail：jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL：03-6801-5563(代)　FAX：03-6801-5564

著作権法により無断での転載等は禁止されています

部　会　C　T

第６回講習会「CVD・ALDプロセスの基礎」

主催　反応工学部会CVD反応分科会，CVD研究会，Cat-CVD研究会

日時　2024年12月5日(木)8:45～17:00
場所　オンライン(Zoom)
参加費　化学工学会CVD反応分科会法人賛助会員（1口につき1人無料，2人目以降は10,000円），化学工学会CVD反応分科会個人会員（10,000円），化学工学会反応工学部会会員（12,000円），化学工学会会員（15,000円），CVD研究会会員（12,000円），Cat-CVD研究会会員(12,000円)，非会員(20,000円)，学生(無料)
申込方法　下記よりお申し込み下さい。申込直後に確認メールを送りますので，doorkeeper.jpドメインからのメール受信を可能としておいてください。
https://cvd-hannoubunkakai.doorkeeper.jp/events/177775
アクセスできない場合には，(1) 氏名，(2) 所属，(3)連絡先E-mail，(4)参加資格(所属学会等)を明記の上，cvd@scej.orgまでメールにてお申し込み下さい。
申込締切　12月2日(月)12時(正午)
問い合わせ先　CVD反応分科会事務局　E-mail：cvd@scej.org

注意
・参加費はクレジットカードにてお支払いください。
・支払いが終わりますと申込完了となり，“CVD反応分科会via Doorkeeper<info@cvd-hannoubunkakai.doorkeeper.jp>”より申込完了通知メールが届きます。
・オンライン会議URLならびに講演資料は参加申込者にのみ開催日前日までにメールにてお送りいたします。
・領収書が必要な方は申込完了通知メールの「申し込み内容詳細」をクリックし，「領収書データを見る」より発行ください。
・参加者による録画，録音は一切禁止とします。
・講演内容のオンデマンド配信は行いません。
・懇親会は行いません。

開催趣旨
当会では，最先端の研究成果を共有し議論するシンポジウムに加えて，学生や若手社員などの初学者向けにCVDプロセスの基礎を体系的に学習できる講習会を開催しています。今回は，CVDに加えて，産業界からの要望の多いALDや，計算科学の進展により強力なプロセス開発ツールとなってきた量子化学計算に関する講習も含めております。これからCVDを始める方も，更なる知識の習得を目指す方も奮ってご参加ください。

プログラム
8:45～8:50　開会挨拶
8:50～9:30　CVD反応と反応速度論
（京都大学)河瀬 元明氏
CVD法の概要，反応速度論，反応解析
9:30～10:00　CVD反応器の形状と操作が製膜速度分布・膜質に及ぼす影響
（横浜国立大学)羽深 等氏
CVD装置内の熱・流れと反応（観察・計算），種々装置の計算・解析例，基本的な操作と構造の意味
10:00～11:00　CVDプロセスの反応速度解析
（京都大学)河瀬 元明氏
CVDプロセスにおける輸送現象と化学反応のモデル化，反応速度解析，流れと拡散
11:00～11:30　量産対応CVD装置の概要とシミュレーションを活用した設計・開発
（東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株))川上 雅人氏
量産対応CVD装置，反応シミュレーション，枚葉式・複数枚バッチ式，流れ解析
11:30～13:00　休憩
13:00～14:00　CVDにおける素反応の量子化学計算の方法と素反応シミュレーションの実例
（産業技術総合研究所)松木 亮氏
量子化学計算，素反応，遷移状態理論，素反応シミュレーション
14:00～14:30　CVD・ALD原料の特性と原料選択の指針
（気相成長(株))町田 英明氏
蒸気圧，反応性，揮発性，供給方法，輸送
14:30～14:45　休憩
14:45～16:25　ALD・ASDの基礎と応用
（東京大学)霜垣 幸浩氏
ALD法の概要，理想特性とALD Window，選択成長（ASD），ALE（エッチング）の併用，その場観察
16:25～16:55　CVDによる粉体合成と粉体コーティング
（広島大学)島田 学氏
生成・合成の原理，装置の例，粉体（微粒子）の気中挙動とその制御
16:55～17:00　閉会挨拶
オーガナイザー　河瀬元明（京都大学），杉目恒志(近畿大学)

以上

地　域　C　T

関　東　支　部

第68回 関東技術サロン講演会 化学工学の視点から見るフードテック：持続可能な食の未来

主催　(社)化学工学会関東支部
共催　早稲田大学 理工学術院総合研究所 先端化学知の社会実装研究所

「フードテック（Food Tech）」は，食と最先端テクノロジーの融合により，食品の生産，加工，流通，消費を大きく変革する革新的なアプローチです。世界的な食料需要の増大やフードロス削減などの課題に対し，植物由来の代替タンパク質や昆虫食による持続可能な食料供給，AIを活用した需要予測や生産性の向上など，フードテックは多様な解決策を提供します。

さらに，高齢者人口の増加に伴い介護食品の需要が高まり，また個人の嗜好や健康状態，ライフスタイルに応じた食品が求められるなど，食に関するニーズが多様化しています。こうした中，AIや3Dフードプリンタ等の活用により，豊かで健康的な食生活の実現が期待されています。

今回の講演会では，農研機構食品研究部門上級研究員，筑波大学教授（協働大学院）の小林功氏をお招きし，フードテックの最新動向や化学工学的なアプローチ，そして未来の展望についてご講演いただきます。なお，講演終了後には，小林氏を囲んだ交流会も予定していますのでぜひご参加ください。

日時　2024年11月15日（金）16:30～18:00（講演・ディスカッション）18:00～19:30（交流会）
開催形式　会場・オンライン併用 ハイブリッド形式
場所　早稲田大学 西早稲田キャンパス63号館2階05会議室(原富太郎記念会議室)
アクセス　東京メトロ副都心線 西早稲田駅直結，または，JR／東京メトロ東西線／西武新宿線 高田馬場駅下車徒歩15分
https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus
定員　80名
参加費　サロンメンバー，SCE・Net会員 2,000円，正会員 3,000円，法人会員 4,000円
学生 1,000円，会員外 6,000円
申込方法　関東支部HP（http://www.scej-kt.org）の次回行事開催一覧の「第68回関東技術サロン」をクリック後，「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウインドウが開きますので，必要事項を記入の上，ご送信ください。
申込締切日　2024年11月13日(水)
問い合わせ先　公益社団法人　化学工学会関東支部事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8　大樹生命文京小日向ビル4階
TEL：03-6801-5563，E-mail：info@scej-kt.org
支払方法　受付後，請求書に基づき事前にお振り込みください。参加費振込終了後は，理由の如何を問わず返金できませんので，ご注意ください。

プログラム
16:30～16:35　関東支部 第3企画委員長 開会挨拶
16:35～17:40　講演「化学工学の視点から見るフードテック：持続可能な食の未来」
17:40～18:00　ディスカッション
18:00～19:30　交流会(会場参加者のみ)

著作権法により無断での転載等は禁止されています

講師　農研機構食品研究部門 上級研究員，筑波大学グローバル教育院 教授(協働大学院)
小林 功氏

神奈川地区見学講演会『カーボンニュートラル社会の構築におけるメタネーション技術』

主催　公益社団法人　化学工学会　関東支部
協賛　公益社団法人　化学工学会　神奈川技術懇話会

地球温暖化問題への対応として，温室効果ガスの排出削減・ゼロ排出化が急務となってきており，世界各国でも，実質CO_2排出量ゼロの30年後達成との表明が相次いでいます。そのための大きな手段として，再生可能エネルギーから製造した水素の利用や排出源から回収した二酸化炭素の有効利用が注目されています。その両者を達成する技術の一つとして，メタネーション反応によるメタン製造の実用化が進められており，技術検証が東京ガスにより実施されました。

本見学講演会は，この技術検証に際して設置されたメタネーション実証プラントの見学，および，メタネーションの社会実装の展望と技術課題を概観する講演で構成致しました。各位の積極的な参加をお待ちしています。

日時　2024年12月12日(木)14:00～17:00
会場　東京ガス横浜テクノステーション
〒230-0045 神奈川県横浜市神奈川区末広町1-7-7
交通手段　JR京浜東北線 鶴見駅 東口バスターミナル8番乗場
川崎鶴見臨港バス(鶴08系統)「ふれーゆ」行き→「東京ガス前」下車
徒歩1分(バス乗車時間　約15分)
募集人員　30名(先着順締め切り)
募集締切　11月28日(木)
参加費　化学工学会　正会員9,000円，法人会員11,000円，学生会員2,000円，会員外15,000円，サロンメンバー 5,000円，神奈川技術懇話会会員 9,000円
申込方法　関東支部ウェブサイト（http://www.scej-kt.org）の行事開催のご案内の「神奈川地区見学講演会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きます。必要事項を記入の上ご送信下さい。
連絡先　公益社団法人　化学工学会関東支部
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8大樹生命文京小日向ビル4階
TEL：03-6801-5563，E-mail：info@scej-kt.org
支払方法　受付後お送りする振込用紙にて事前にお支払いください。
締め切り後のキャンセルの場合には，参加費をご請求させていただきます。

プログラム
＜開会の辞(14:00～14:05)＞
14:00～14:05（公社）化学工学会 関東支部第2企画幹事
(千代田化工建設(株)) 河合 裕教
＜講演(14:05～15:15)＞
14:05～14:40「二元機能触媒を用いた新たなCCUプロセス提案をめざして」
(産業技術総合研究所)倉本 浩司氏
14:40～15:15「都市ガスのカーボンニュートラル化に向けたメタネーション開発の取り組み」
(東京ガス(株)) 佐藤 洸基氏
＜休憩(15:15～15:30)＞
＜工場見学(15:30～16:55)＞
15:30～15:50　メタネーション実証装置　概要説明
15:50～16:40　メタネーション実証装置見学
16:40～16:55　質疑応答
＜閉会の辞(16:55～17:00)＞
16:55～17:00　（公社）化学工学会 関東支部第2企画委員会副委員長挨拶
日揮ホールディングス(株) 近松 伸康

バイオプロセス講演・見学会「バイオ生産技術実用化への早道」

主催　公益社団法人 化学工学会関東支部，公益社団法人 化学工学会バイオ部会
協賛　公益社団法人 日本生物工学会，日本動物細胞工学会

微生物機能を活用する物質生産は，循環型社会の実現と持続的経済成長の共存を可能とする技術であり，素材・食品・化学製品など多分野への拡大が見込まれています。このバイオものづくりの実用化のためには，ラボスケールの基礎研究とともに，高生産性と低コスト化を両立したバイオ生産システムの構築が必要です。本講演見学会では，バイオ生産技術の最新の研究に加え，製造プロセスの新たな動向について，各分野の専門家にご講演をいただき，産学の枠を超えた自由な意見交換の場を提供いたします。

また，わが国のバイオリファイナリー分野を牽引する企業の一つであるGreen Earth Institute株式会社様のご厚意により，施設見学会を開催します。国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発」の一環として，バイオファウンドリ事業に採択された拠点施設を見学します。バイオ生産物の早期上市を狙う企業の方，生産プロセスのスケールアップテストを行いたい方，バイオ生産技術とは何かを学びたい方などのご参加をお待ちしています。

日時　2024年12月5日（木）（講演会），12月6日(金)（見学会）
会場　（講演会）三井化学株式会社茂原分工場
〒297-8666 千葉県茂原市東郷1900 TEL：0475-23-0111
（見学会）Green Earth Institute株式会社バイオファウンドリ研究所
〒297-8666 千葉県茂原市東郷1900（三井化学株式会社茂原分工場内）
募集人数　80名(先着順締め切り)
募集締切　11月21日(木)
参加費　化学工学会・協賛団体 正会員25,000円，バイオ部会正会員25,000円，バイオ部会賛助会員20,000円
化学工学会・協賛団体 法人会員の社員の方30,000円，化学工学会･協賛団体 学生会員8,000円，会員外37,000円，会員外学生10,000円
※参加費にはテキスト代・懇親会費・消費税が含まれます
申込方法　関東支部ウェブサイト（http://www.scej-kt.org）の行事開催のご案内の「バイオプロセス講演・見学会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きます。必要事項を記入の上ご送信下さい。
連絡先　公益社団法人　化学工学会関東支部
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8大樹生命文京小日向ビル4階
TEL：03-6801-5563，E-mail：info@scej-kt.org
支払方法　受付後お送りする振込用紙にて事前にお支払いください。
締め切り後のキャンセルの場合には，参加費をご請求させていただきます。

プログラム
第1日目：(13:00～17:00)（三井化学株式会社茂原分工場）
1. 講演会
1-1(13:05～13:50)「バイオプロセスの生産性向上に向けたCFD活用の取り組み」
(DIC(株)) 江口 潤氏
1-2(13:50～14:35)「食糧と非競合な藻類バイオマスの微生物による効率的代謝に関する研究」
(味の素(株)) 土井 秀高氏
1-3(14:35～15:20)「バイオリファイナリー技術のプラットフォームを構築するバイオファウンドリ事業について」
(Green Earth Institute(株)) 古城 敦氏
(15:20～15:40)休憩(20分間)
1-4(15:40～16:25)「単位操作の“バイオものづくり”への貢献」
(神戸大学大学院) 荻野 千秋氏
1-5(16:25～17:10)「生物ものづくりDBTL加速を指向したバイオパーツの進化デザイン」
(早稲田大学) 梅野 太輔氏
(17:10～17:30) 全体質疑応答・2日目見学会の概要説明
2. 懇親会（18時頃より，三井化学株式会社茂原分工場食堂にて）
第2日目：(Green Earth Institute 株式会社バイオファウンドリ研究所)
班に分かれて研究所を見学します（1班8:30集合10:45解 散，2班9:30集 合11:45解 散，3班10:30集合12:45解散）
茂原駅で集合・解散です。
※申し込みの際に，どの班を希望するか記入いただきます。希望に添えない場合があることご了承ください。
研究所見学のため，ヒールのある靴やスカートの着用はお控えくださいますようお願い申し上げます。
【宿泊に関する注意事項】
開催地の千葉県茂原市はホテルの数が少数のため，ご参加予定の方はお早めの予約をお勧めいたします。

第31回 イブニングセミナー「化学工業・産業におけるスマート工場化とOTセキュリティ課題」

主催　(公社)化学工学会関東支部
協賛　(公社)化学工学会システム・情報・シミュレーション(SIS)部会，(公社)計測自動制御学会，(一社)日本機械学会

化学工学関東支部では，世の中で話題となっているホットな技術を取り上げ，その分野に詳しい技術者あるいは先生に平易に解説していただき，理解を深めていただくセミナーを開催しています。

近年，化学工学分野においても多く導入されつつあるデジタルトランスフォーメーション(DX)とそれに伴うサイバーセキュリティについて，講演をしていただくセミナーを企画しました。DXの導入は，プロセスの最適化や生産性向上に大きく貢献していますが，同時に新たなセキュリティ課題も浮上しています。これらの分野が相互に補完し合いながら，未来の安全かつ効率的な化学工業を支えていくことが求められます。

本セミナーでは，最初に，東京農工大学の山下先生より，化学プラントのDXから運転・制

著作権法により無断での転載等は禁止されています

御へのAI適用について，次に名古屋工業大学の橋本先生よりサイバー攻撃からのプラント安全操業を考えることについて，ご講演いただきます。多数の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時　2024年12月16日(月)16:00～18:00
会場　オンライン開催になります。

プログラム
1.（16:00～16:05）開会の挨拶
2.（16:05～16:50）
講演1「化学プラントのDX：AIの進歩とスマート工場」（東京農工大学）山下 善之氏
3.（16:55～17:40）
講演2「サイバー攻撃はプラント安全の脅威望まれるITとOTの協力とは？」
（名古屋工業大学）橋本 芳宏氏
4.（17:40～17:55）総合討論
5.（17:55～18:00）閉会の挨拶

参加費　正会員2,000円，法人会員（協賛団体，後援団体を含む）2,000円，学生会員1,000円，サロンメンバー1,000円，会員外5,000円
＊なお，それぞれの参加費には消費税が含まれています。
申込方法　Webでお申し込みください。
関東支部HP（http://www.scej-kt.org）の次回行事開催一覧の「第31回イブニングセミナー」をクリック後，「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウインドウが開きますので，必要事項を記入の上，ご送信ください。
申込締切日　2024年12月9日(月)
連絡先　〒112-0006東京都文京区小日向4-2-8大樹生命文京小日向ビル4階
TEL：03-6801-5563　E-mail：info@scej-kt.org
支払方法　申込後お送りする請求書にて事前にお振込みください。
お振込み頂いた参加費は当方の事情以外返金は致しません。
申込締切後のキャンセルについては，参加費をご請求させていただきます。

中国四国支部

「脱炭素社会を支えるカーボンニュートラルとバイオマス技術」

主催　中国地区化学工学懇話会
共催　広島大学フェニックス協力会

趣旨　化学産業はエネルギー集約型のプロセスを多く含むため，新たな技術革新とともに，脱炭素化への移行が求められています。本セミナーでは，カーボンニュートラルとバイオマス技術の最新動向，技術的な課題とその解決策，そして具体的な応用例について産学官における取り組みを紹介します。その上で，脱炭素社会・持続可能な未来を共に創造するための知見とアイデアを共有し，化学産業が果たすべき役割について共に考えます。多くの方のご参加を期待しております。

日時　2024年11月29日（金）10:30～16:35（講演会），17:00～19:00(交流会)
会場　TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前3A(講演会3F)，4A(交流会4F)
（〒732-0821広島県広島市南区大須賀町13-9）
アクセス　広島駅(南口・在来線口)から徒歩2分
定員　120名

プログラム
主催者挨拶(10:30～10:35)
広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授 島田 学氏
〔講演〕
1)(10:35～11:25)「産業のバイオ化を加速する！バイオものづくりラボの取組み」
大阪工業大学　工学部生命工学科　教授 長森 英二氏
2)(11:25～11:55)「海田発電所の事業概要について」
海田バイオマスパワー(株)　海田発電所 総務部長　角野 基昭氏
<11:55～13:00　休憩>
3)(13:00～13:40)「佐賀市における持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくり」
佐賀市　政策推進部　バイオマス産業推進課 主査　針尾 菜都美氏
4)(13:40～14:30)「二元機能触媒を用いた新たなCO_2回収・燃料変換プロセスの開発」
産業技術総合研究所　エネルギープロセス研究部門　エネルギー変換プロセスグループ グループ長　倉本 浩司氏
5)(14:30～15:00)「化学製品のカーボンフットプリント算定ツールCFP-TOMO®の開発と普及」
住友化学(株)技術・研究企画部 スペシャリスト　当麻 正明氏
<15:00～15:15　休憩>
6)(15:15～16:05)「動・静脈産業連携によるプラスチックのカーボンニュートラル化」
国立環境研究所　社会システム領域　室長 藤井 実氏
7)(16:05～16:35)「出光興産の燃料アンモニア及びSAFへの取組紹介」
出光興産(株)新規事業開発担当部長 今井 博文氏
セミナー閉会挨拶(16:35～16:40)
〔交 流 会〕17:00～19:00（TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前　4A(4F)）

参加費(消費税10%込み)

会員資格	講演会	交流会
懇話会会員，化学工学会会員，広島大学フェニックス協力会会員	5,000円	3,000円
非会員	9,000円	

申込締切　2024年11月8日(金)
申込方法　申込先フォームサイトでお申込み下さい。
申込先フォームサイト　https://forms.office.com/r/rYTLdDvmyv

参加費のお支払い　銀行振込（広島銀行 大手町支店（010）（普通）0431443 中国地区化学工学懇話会）
※請求書は原則発行しておりませんので，申込後に直接お振込みをお願いします。
問合せ先　〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1　広島大学工学部化学工学講座内
中国地区化学工学懇話会事務局・担当幹事・宇敷 育男。E-mail：iushiki@hiroshima-u.ac.jp

第36回　化学工学研究会「蓄電池開発の最前線」

主催　山口地区化学工学懇話会
共催　山口大学化学プロセス強化研究教育推進体，山口大学グリーン社会推進研究会材料・生産技術部会

低炭素社会の実現に向け，自動車の電動化・再生可能エネルギーの高効率利用のためには，次世代蓄電池の開発が重要とされています。蓄電池開発においては，電池材料・デバイス設計など，様々な分野の研究者が必要とされています。本研究会では，次世代蓄電池開発に向けた，新規材料や技術の最前線の内容について，講師の方々にご講演いただきます。

日時　2024年11月26日(火)13:00～16:00
場所　山口大学工学部E21教室

講演1
「定置用大型蓄電池としての水系ナトリウムイオン電池」
概要　高コストパフォーマンス・高安全性の双方の特徴を併せ持つ定置用大型蓄電池として確立を目指す水系ナトリウムイオン電池の材料開発について紹介する。
山口大学　喜多條 鮎子氏
講演2
「次世代リチウム電池用濃厚電解液の開発」
概要　次世代リチウム電池の電解液としてLi塩濃度が極めて高い高濃度電解液が注目されているが，これらの興味深い基礎物性と電池特性について紹介する。
横浜国立大学　獨古 薫氏
講演3
「革新電池と材料」
概要　サステナブルなモビリティを実現するために不可欠な革新電池とその構成材料に関して，いくつかの研究開発事例を紹介する。
トヨタ自動車株式会社　射場 英紀氏
閉会後，情報・名刺交換会（希望者のみ，16:30まで）
申込締切　11月22日(金)12時
参加費　無料(定員超過の場合は山口地区化学工学懇話会会員の方々を優先します)
申込方法
https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~konwakai/にて案内予定
問合先　山口地区化学工学懇話会事務局 konwakai“アットマーク”yamaguchi-u.ac.jp

著作権法により無断での転載等は禁止されています